京都市自衛消防隊に関する操法

（平成４年９月１０日発消予第４２号）

第１　趣旨

この通達は，事業所の自衛消防隊（以下「自衛消防隊」という。）が自衛消防活動技術を高めるために行う自衛消防隊に関する操法（以下「操法」という。）について必要な事項を定めるものとする。

第２　操法の種別

操法の種別は，次の各号に掲げるとおりとする。

⑴　初動活動操法

⑵　消火器操法

⑶　２号消火栓操法

⑷　屋内消火栓操法

⑸　屋外消火栓操法

⑹　小型動力ポンプ操法

第３　操法の実施要領

操法の実施要領は，別表第１から別表第６までに掲げるとおりとする。この場合において，操法に係る基本的な操作要領は，「京都市消防，救助，救急に関する操法」の規定を準用する。

第４　操法に係る定位，器具の配置等

操法に係る定位，器具の配置，各隊員の位置は，別図第１から別図第６までに掲げるとおりとする。

第５　操法実施上の留意事項

操法を実施するときは，次の各号に掲げる事項について留意するものとする。

⑴　操法は，安全を確保するとともに，迅速確実に行うこと。

⑵　操法を行う者は，操法に適した服装を整え，かつ，せいいつを期すこと。

⑶　操法を行う者の動作は，原則として駆け足とし，動作及び操作の区切りは，節度正しく行うこと。

⑷　操法を行う者は，任務分担に基づき，操法の実施前及び終了後に器具等の点検を行うこと。

⑸　２人以上の操作員からなる操法における隊員は，逐次操作の分担を交替して，いずれの操作にも習熟すること。

⑹　隊員は，指揮者の指示及び命令並びに各操作に際し，確認の呼唱及び復唱を確実に行うこと。

附　則

この通達は，平成４年９月１０日から運用する。

別表第１

初動活動操法

項目	実施者	要　　務　　分　　担
待機	指揮者	待機線上に１番員の右側で，整列休めの姿勢で待機する。
	隊　員	待機線上に一列横隊の隊形で，整列休めの姿勢で待機する。
集合及び点呼	指揮者	（開始の合図により） 基本の姿勢をとり「気をつけ」と号令し，集合線の前方２メートルの指揮位置に至り，まわり込みをして，１番員に正対したのち，右手を真上に伸ばし「集まれ」と号令して，隊員を集合させる。 整とんを確認したのち「番号」と号令する。
	隊　員	指揮者の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとる。 「集まれ」の号令でせいいつに集合線上に進み１番員を基準として自発的に整とんする。 （両かかとを揃え，１番員は顔を２番員に向ける。２番員は右手を腰にあて，１番員に顔を向けて整とんする。整とんが完了したら１番員，２番員の順になおる。） 指揮者の「番号」の号令で基本の姿勢のまま１番員から順次各自の番号を呼唱する。
訓練の開始	指揮者	自火報ベルの鳴動で，「訓練開始，防災センターに集合」と号令し，防災センターに至る。 自火報の受信機の表示窓を確認して，「〇〇階出火」と呼称し，適宜主ベルを停止して「１番員現場確認」，「２番員１１９番通報」と下命する。 適宜地区ベルを停止し，放送設備又は携帯マイクで従業員や避難者に対し「只今，自動火災報知設備が作動しました。従業員の指示に従ってください。」と２回放送する。
	１番員	指揮者の「訓練開始，防災センターに集合」の号令で「よし」と呼称し，防災センターに至る。 指揮者の「１番員現場確認」の号令で「よし」と呼称し，消火器，携帯用送受話器を持って現場に至る。
	２番員	指揮者の「訓練開始，防災センターに集合」の号令で「よし」と呼称し，防災センターに至る。 指揮者の「２番員１１９番通報」の号令で「よし」と呼称し，防災センター内の加入電話で「自動火災報知設備が作動しました。場所は，〇

		○区○○町○○事業所○○階です。」と消防機関へ通報し，「１１９番通報よし」と呼称して，待機する。
火災の断定	指揮者	受信機の電話ブザーの鳴動により，携帯用送受話器のジャックを差し込み「防災センターです」と応答し，火災断定を受信したのち，２番員に「１１９番火災通報，○○階○○室出火，負傷者なし」と下命する。 その後，放送設備又は携帯マイクで「自衛消防隊に連絡する。○○階○○室から出火，活動を開始せよ」と指示するとともに，「皆さんに連絡します。○○階○○室から火災が発生しました。自衛消防隊の指示に従って非難してください。」と２回放送して，各操法の訓練開始時の指揮位置に至る。
	１番員	火災発生を確認して「火事だ！○○が火事だ！」と大声で叫びながら発信機に至り，携帯用送受話器のジャックを差し込み「○○階○○室から出火，負傷者なし」と連絡したのち，消火器を放射（実放射しないときは，放射体勢を１５秒間保持する。）する。 その後，付近において避難誘導を実施する。
	２番員	指揮者の「１１９番火災通報」の号令により，加入電話で「先ほどの○○事業所ですが，○○階○○室が燃えています。負傷者はありません。」と通報し，「１１９番通報よし」と呼称して待機する。
火災拡大による消火活動	指揮者	各操法開始時の指揮位置において基本の姿勢をとり，右手を真上に伸ばして「○○消火班，集まれ」と号令し，隊員を集合させる。 整とんを確認したのち「番号」と号令する。 各隊員の番号の呼称を受けたのち，「火点は○○階○○室，操作かかれ」と号令する。 その後は，各操法に基づいて行動する。
	１番員	指揮者の「○○消火班，集まれ」の号令で，消火器，携帯用送受話器をその場に置き，集合して，自発的に整とんする。 指揮者の「番号」の号令で「１」と呼称し，指揮者の「操作かかれ」の号令で「よし」と呼唱したのち，各操法に基づいて行動する。
	２番員	指揮者の「○○消火班，集まれ」の号令で集合線に集合し，１番員を基準として自発的に整とんする。 指揮者の「番号」の号令で１番員に続き「２」と呼称し，指揮者の「操作かかれ」の号令で「よし」と呼唱したのち，各操法に基づいて行動する。

別表第２

消火器操法

項目	実施者	要　　務　　分　　担
待機	指揮者	待機線上に１番員の右側で，整列休めの姿勢で待機する。
	隊　員	待機線上に一列横隊の隊形で，整列休めの姿勢で待機する。
集合及び点呼	指揮者	（開始の合図により） 基本の姿勢をとり「気をつけ」と号令し，集合線の前方２メートルの指揮位置に至り，まわり込みをして，１番員に正対したのち，右手を真上に伸ばし「集まれ」と号令して，隊員を集合させる。 整とんを確認したのち「番号」と号令する。
	隊　員	指揮者の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとる。 「集まれ」の号令でせいいつに集合線上に進み１番員を基準として自主的に整とんする。 （両かかとを揃え，１番員は顔を２番員に向ける。２番員は右手を腰にあて，１番員に顔を向けて整とんする。整とんが完了したら１番員，２番員の順になおる。） 　指揮者の「番号」の号令で基本の姿勢のまま１番員から順次各自の番号を呼唱する。
想定	指揮者	基本の姿勢のままで「火点は前方の標的」と号令する。
	隊　員	基本の姿勢のままで想定を受ける。
操法の開始	指揮者	「操作かかれ」と号令をかけたのち，１，２番員の「よし」の呼唱でまわれ右をし，（足を引きつけない。），火点へ先行する。 火点の状況を確認する。 （火点に向かい，基本の姿勢をとったのち，後方に向きを変え，後続の隊員を監視する。） 隊員が操作線直前に達したとき，「止まれ」と号令し，停止後「消火」と号令する。 隊員及び火点の状況を監視する。
	隊　員	指揮者の「操作かかれ」の号令で「よし」と呼唱し，集合線から前方１０メートルの消火器の置いてある位置に至り，それぞれ消火器を持って，操作線まで搬送する。 指揮者の「止まれ」の号令で停止し，「消火」の号令で所定の放射操作を行う。 放射完了後「消火よし」と呼唱する。

中止 及び 収納	指揮者	（鎮火の合図により） 「消火完了」,「止め」と号令する。 隊員が操作線上に消火器を整理して置くのを確認したのち，集合時の指揮位置に至り，１番員に正対して基本の姿勢をとる。
	隊　員	指揮者の「止め」の号令で，消火器を操作線上に整理して置き，集合線に至り整列休めの姿勢で待機する。
報告 及び 解散	指揮者	「気をつけ」と号令し，異状の有無の報告を受けたのち,「わかれ」と号令し，隊員の敬礼に答礼して解散する。
	隊　員	指揮者の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとり，１番員から順次指揮者に「１番員よし」,「２番員よし」と報告する。 「わかれ」の号令で一斉に挙手注目の敬礼をして解散する。

別表第３

２号消火栓操法

項目	実施者	要　　務　　分　　担
待機	指揮者	開始線上に隊員の右側で，整列休めの姿勢で待機する。
	隊　員	開始線上に指揮者の左側で，整列休めの姿勢で待機する。
操法の開始	指揮者	（開始の合図により） 基本の姿勢をとり「気をつけ」と号令し，開始線の前方２メートルの指揮位置に至り，まわり込みをして，隊員に正対したのち，「火点は前方の標的，操作かかれ」と号令する。 隊員の「よし」の呼唱でまわれ右をし，足を引きつけないで火点へ先行する。 火点の状況を検索し，右手で火点を指しながら「検索よし」と呼唱する。 後方に向きを変え，筒先位置付近に至り，ホースを延長してきた隊員が放水線の手前２メートルの位置に達したとき「止まれ」と号令し，停止後右手で筒先位置を指しながら「筒先位置」と号令する。 隊員が筒先位置に前進し，放水姿勢をとり「よし」と合図したとき「始め」と号令する。 隊員の復唱を確認したのち，火点側の指揮位置に至り，基本の姿勢で火点の状況を監視する。
	隊　員	指揮者の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとる。 指揮者の「操作かかれ」の号令で「よし」と呼唱し，ボックスの扉を開けて，ノズルを取り出したのち，消火栓開閉弁を開き「バルブ（開閉レバー）よし」と呼唱する。 ノズルを左手で，ノズル後方のホースを右手で握り，引き出すようにしてホースを延長しながら火点方向に進む。 指揮者の「止まれ」の号令で一旦停止し，「筒先位置」の号令で放水姿勢をとりながら指揮者の指示する筒先位置に進み，放水姿勢をとり「よし」と合図する。 指揮者の「始め」の号令を復唱して，右手でノズル開閉弁を開き放水する。
	指揮者	（鎮火の合図により） 隊員の方向に向きを変え，「止め」と号令する。 隊員のノズル開閉弁閉止の「よし」の合図を確認したのち，ボックスに至り，消火栓開閉弁を閉止して「バルブ（開閉レバー）よし」と呼唱

放水の中止		し，火点側の指揮位置に戻り基本の姿勢で「よし」と合図する。
	隊　員	指揮者の「止め」の号令を復唱して，右手でノズル開閉弁を閉止し，「よし」と合図する。 指揮者が消火栓開閉弁を閉止して，火点側の指揮位置に戻り「よし」と合図したとき，左足を右足に引きつけ，ノズルを右手で保持して基本の姿勢をとる。
収納	指揮者	（撤収の合図により） 　隊員の方向に向きを変え，「収め」と号令して，ボックス位置に至り，ボックスの放口からホースを離脱してめす金具を地上に置き，ホースを手操り寄せて，渦巻き状に納めて行き，最後に隊員からノズルを受け取って，渦巻き状のホースの上に置いたのち，ボックスの扉を閉める。 　隊員の前方２メートルの位置に至り，隊員に正対して基本の姿勢をとる。
	隊　員	指揮者の「収め」の号令で「よし」と呼唱し，ノズル開閉弁を開き，ホース内の圧力を抜いたのち，右手でノズルを持ったまま，ホースの右側を通り開始線に至り，巻き始められた渦巻き状のホースの直近にノズルを置く。 　その後，指揮者のホース収納作業の補助を行い，終わりに近づいたとき，ノズルを持ち上げ指揮者に渡したのち，渦巻き状に納められたホースの左横，開始線上に整列休めの姿勢で待機する。
項目	実施者	要　　務　　分　　担
報告及び解散	指揮者	「気をつけ」と号令し，異状の有無の報告を受けたのち，「わかれ」と号令し，隊員の敬礼に答礼して解散する。
	隊　員	指揮者の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとり，指揮者に「異状なし」と報告する。 指揮者の「わかれ」の号令で挙手注目の敬礼をして解散する。

別表第４

３　屋内消火栓操法

項目	実施者	要　　務　　分　　担
待機	指揮者	待機線上に１番員の右側で，整列休めの姿勢で待機する。
	隊　員	待機線上に一列横隊の隊形で，整列休めの姿勢で待機する。
集合及び点呼	指揮者	（開始の合図により） 基本の姿勢をとり「気をつけ」と号令し，集合線の前方２メートルの指揮位置に至り，まわり込みをして，１番員に正対したのち，右手を真上に伸ばし「集まれ」と号令して，隊員を集合させる。 　整とんを確認したのち「番号」と号令する。
	隊　員	指揮者の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとる。 　「集まれ」の号令でせいいつに集合線上に進み１番員を基準として自主的に整とんする。 （両かかとを揃え，１番員は顔を２番員に向ける。２番員は右手を腰にあて，１番員に顔を向けて整とんする。整とんが完了したら１番員，２番員の順になおる。） 　指揮者の「番号」の号令で基本の姿勢のまま１番員から順次各自の番号を呼唱する。
想定	指揮者	基本の姿勢のままで「火点は前方の標的」と号令する。
	隊　員	基本の姿勢のままで想定を受ける。
	指揮者	「操作かかれ」と号令をかけたのち，１，２番員の「よし」の呼唱でまわれ右をし（足を引きつけない。），火点へ先行する。 　火点の状況を検索し，右手で火点を指しながら「検索よし」と呼唱する。 後方に向きを変えて放水線付近に至り，第２ホースを延長してきた２番員が放水線の手前約２メートルの位置に達したとき，「止まれ」と号令し，停止後右手で筒先位置を指しながら「筒先位置」と号令する。 　２番員が放水姿勢をとり「よし」と合図したとき，１番員に対し手信号を併用して「始め」と号令する。 １番員の復唱を確認したのち，火点側の指揮位置に至り，基本姿勢で火点の状況を監視する。
		指揮者の「操作かかれ」の号令で「よし」と呼唱し，消火栓ボックスの扉を開けて起動ボタンを押し，起動ランプを確認して「起動よし」と呼唱する。

操法の開始	１番員	ホース掛けから第１ホースをはずして置き，おおむね２メートルの余裕ホースをとったのち，消火栓ボックス左横約１．５メートルの位置で，ホース上にひざをつけて折りひざ姿勢をとり，両手でホースを保持して「よし」と合図し，第１ホースの延長が終了する直前に「止まれ」と合図する。 第１ホースの延長を確認したのち，余裕ホースを整理して，火点方向に向き基本の姿勢をとる。 指揮者の「始め」の号令を手信号を併用して復唱し，放口バルブを開いて送水を確認し「よし」と呼唱する。 ホースラインの通水状態を確認しながら，ホースラインの右側を通り筒先側へ移動する。 筒先側の余裕ホースを整理したのち，２番員の反対側おおむね一歩後方の位置で放水補助の姿勢をとり「よし」と呼唱する。 （放水補助の姿勢は，両手でホースを持ち，右足を一歩踏み出して腰をやや落とし，上体をやや前方に倒した姿勢とする。）
	２番員	指揮者の「操作かかれ」の号令で「よし」と呼唱し，筒先と第２ホースを消火栓ボックスから取り出す。 筒先を左手に持ち，第２ホースと第２結合部を右脇に抱え，１番員の「よし」の合図で第１ホースを延長する。 １番員の「止まれ」の合図で停止し，第２ホースと第２結合部を地上に置いたのち，筒先を両手で持って火点方向に進む。 指揮者の「止まれ」の号令で一旦停止し，「筒先位置」の号令で放水姿勢をとりながら指揮者の指示する筒先位置に進み，筒先側余裕ホースをとったのち，放水姿勢をとり「よし」と合図する。 （余裕ホースのとり方は，左手で筒先を持ち，右手はホースに持ち変え，右手で左後方にホースを振り広げて半円弧状の余裕ホースをとり，わずかに振り戻して直線部分をとる。）
放水の中止	指揮者	（鎮火の合図により） １番員の方向に向きを変え「止め」と号令する。 後方に向きを変え，１番員のバルブ閉止の「よし」の合図を確認し，まわれ右をして火点側を向き基本の姿勢をとる。
	１番員	指揮者の「止め」の号令を復唱し，消火栓ボックスの位置へ戻り，放口バルブを閉止して，火点側を向き基本の姿勢で「よし」と合図する。 （復唱と同時に両手からホースを離し，足を開いたまま左側から後方に向きを変え，足を引きつけることなく，ホースラインの右側を通って戻る。）

	２番員	１番員がバルブを閉止して「よし」と合図したとき，左足を右足側に引きつけ，筒先を右手で保持して基本の姿勢をとる。 （筒先の先端部を持ち，肘を伸ばして筒先を垂直に保持する。）
収納	指揮者	（撤収の合図により） まわれ右をして第２結合部の左横１メートルの位置に至り，基本の姿勢をとったのち，１番員に対し手信号を併用して「収め」と号令する。 １番員の復唱を確認したのち，右側に移動して折りひざ姿勢で結合部を離脱する。 １番員と協力して第１ホースを整理する。 （ホースは，火点側へは引かずによじれを正す。） ２番員と協力して第２ホースを整理する。 （ホースラインの左側後方へよじれを正しながら直伸させる。） 筒先の右側に至り，後方に向きを変えて筒先を右脇に抱え持ち，消火栓ボックス位置まで搬送して，元の位置に収納する。 集合時の指揮位置に至り，基本の姿勢で監視する。
	１番員	指揮者の「収め」の号令を手信号を併用して復唱する。 第１ホースを消火栓ボックスの放口から離脱し，指揮者と協力して第１ホースを整理する。 （ホースラインを左側後方へよじれを正しながら直伸させる。） 第１ホースのおす金具部右側に至り，後方に向きを変えて，おす金具からうず巻き状に巻き，消火栓ボックス後方２メートルの位置まで搬送して置く。 （搬送方法は，肩担い搬送又は脇抱え搬送とする。） 消火栓ボックスに筒先が収納されていることを確認して扉を閉め，集合線上に整列休めの姿勢で待機する。
	２番員	指揮者の「収め」の号令で「よし」と呼唱し，筒先を離脱してその場に置く。 （筒先からホースを離脱するには，ホースに沿って右足を半歩後ろに引き，まわれ右をしながら筒先を左脇下に抱え込み，折りひざ姿勢をとり，両手で元金具をはさんで持ち，両手指でホースの離脱環を引いて離脱する。離脱した筒先は左側に置く。） 指揮者と協力して第２ホースを整理する。 （ホースは，火点側へは引かずによじれを正す。） 第２ホースをおす金具からうず巻き状に巻き，消火栓ボックス後方２メートルの位置まで搬送して置く。 （搬送方法は，肩担い搬送又は脇抱え搬送とする。）

		集合線上に整列休めの姿勢で待機する。
報告及び解散	指揮者	「気をつけ」と号令し，異状の有無の報告を受けたのち，「わかれ」と号令し，隊員の敬礼に答礼して解散する。
	１番員	指揮者の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとり，指揮者に「１番員よし」と報告する。 指揮者の「わかれ」の号令で挙手注目の敬礼をして解散する。
	２番員	指揮者の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとり，１番員に続いて指揮者に「２番員よし」と報告する。 指揮者の「わかれ」の号令で挙手注目の敬礼をして解散する。

別表第５

屋外消火栓操法

項目	実施者	要　　務　　分　　担
待機	指揮者	待機線上に１番員の右側で，整列休めの姿勢で待機する。
	隊　員	待機線上に一列横隊の隊形で，整列休めの姿勢で待機する。
集合及び点呼	指揮者	（開始の合図により） 基本の姿勢をとり「気をつけ」と号令し，集合線の前方４メートルの指揮位置に至り，まわり込みをして，１番員に正対したのち，右手を真上に伸ばし「集まれ」と号令して，隊員を集合させる。 整とんを確認したのち「番号」と号令する。
	隊　員	指揮者の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとる。 「集まれ」の号令でせいいつに集合線上に進み１番員を基準として自主的に整とんする。 （両かかとを揃え，１番員は顔を２，３番員に向ける。２，３番員は右手を腰にあて，１番員に顔を向けて整とんする。整とんが完了したら１番員から順次になおる。） 指揮者の「番号」の号令で基本の姿勢のまま１番員から順次各自の番号を呼唱する。
想定	指揮者	基本の姿勢のままで「火点は前方の標的」と号令する。
	隊　員	基本の姿勢のままで想定を受ける。
	指揮者	「操作かかれ」と号令をかけたのち，１，２，３番員の「よし」の呼唱でまわれ右をし（足を引きつけない。），火点へ先行する。 火点の状況を検索し，右手で火点を指しながら「検索よし」と呼唱する。 後方に向きを変えて放水線付近に至り，第３ホースを延長してきた２番員が放水線の手前約２メートルの位置に達したとき，「止まれ」と号令し，停止後右手で筒先位置を指しながら「筒先位置」と号令する。 ２番員が放水姿勢をとり「よし」と合図し，３番員が第３ホースの余裕を広げようとしたとき，３番員に対し「始め」と号令する。 ３番員が復唱しながらホースの余裕をひろげるのを確認したのち，火点側の指揮位置に至り，基本の姿勢で火点の状況を監視する。
		指揮者の「操作かかれ」の号令で「よし」と呼唱し，消火栓ボックスの扉を開けて起動ボタンを押し，起動ランプを確認して「起動よし」と呼唱する。 第１ホースを消火栓ボックスの放口に結合して確認し，おおむね２メ

操法の開始	１番員	ートルの余裕ホースをとったのち，消火栓ボックス左横約１．５メートルの位置で，ホース上にひざをつけて折りひざ姿勢をとり，両手でホースを保持して「よし」と合図し，第１ホースの延長が終了する直前に「止まれ」と合図する。 第１ホースの延長を確認したのち，余裕ホースを整理し，消火栓ボックスの放口の左横約１メートルの位置で，火点方向に向き整列休めの姿勢で待機する。 ３番員が放水始めの伝達に来たとき基本の姿勢をとり，手信号を併用して「始め」を復唱したのち，放口バルブを開いて送水を確認し，元の位置に戻って基本の姿勢をとり，３番員に対して「よし」と合図し，その後整列休めの姿勢で待機する。
	２番員	指揮者の「操作かかれ」の号令で「よし」と呼唱し，筒先を背負い，第３ホースを左肩に担い搬送する。 （筒先を背負う要領は，右手でノズルを，左手で背負いバンドの中央部を持ち，右手を頭上に，左手を右脇の下にして，頭及び左腕を背負いバンドにくぐらせ，ノズルが右肩に，元金具が左腰近くに位置するように背負うものとする。） ３番員が延長する第２ホースのおす金具の付近で第３ホースを降ろし，左斜め前方へ二つ折り状態に延長して，おす金具を一旦その場に置き，筒先を肩から降ろして左手で筒先を持ち，右手でおす金具をねじ込むように結合して確認し，火点方向へ進む。 （背負った筒先を降ろす要領は，元金具を左手で持ち，筒先を腹部に移動させたのち，左肘を背負いバンドから抜き，左手を下からプレイパイプ中央部に持ち変え，右手で背負いバンドを持ち，頭部を背負いバンドからはずす。） 指揮者の「止まれ」の号令で一旦停止し，「筒先位置」の号令で放水姿勢をとりながら指揮者の指示する筒先位置に進み，筒先側余裕ホースをとったのち，放水姿勢をとり「よし」と合図する。
		指揮者の「操作かかれ」の号令で「よし」と呼唱し，第１ホースを二つ折り状態に延長し，第２ホースのめす金具に第１ホースのおす金具をねじ込むように結合して確認し，当該結合部を下にして第２ホースとともに右脇に抱え持ち，左手を第２ホースに添えて持ち，１番員の「よし」の合図で前進して第１ホースを延長する。 １番員の「止まれ」の合図で止まり，第２ホースと結合部を地上に降ろして第２ホースを二つ折り状態に延長したのち，右手におす金具を持って前進し，第３ホースのめす金具付近に至り，第２ホースのおす金具

	３番員	を第３ホースのめす金具にねじ込むように結合して確認し，筒先側の余裕ホースの位置に至る。 　指揮者の「始め」の号令を復唱するとともに，筒先側の余裕ホースを広げ（両手でホースを下からささえ持ち，前へほりなげるようにして一挙動で広げる。），おおむね５メートルの直線部分をとったのち，後方に向きを変え，１番員の前方２メートルの位置に至り，手信号を併用して「始め」を伝達する。 　１番員の「よし」の合図で，まわれ右をして筒先側へ至り，余裕ホースを整理したのち，２番員の反対側おおむね一歩後方の位置で放水補助の姿勢をとり「よし」と呼唱する。
放水の中止	指揮者	（鎮火の合図により） 　３番員の方向に向きを変え「止め」と号令する。 　３番員の復唱を確認し，火点側を向き基本の姿勢をとる。
	１番員	３番員が「止め」の伝達に来たとき基本の姿勢をとり，手信号を併用して復唱し，起動装置を停止したのち，放ロバルブを閉止して元の位置に戻り，３番員に正対して基本の姿勢で「よし」と合図する。
	２番員	３番員が「止め」の伝達をして放水補助位置に戻り，「よし」と合図したとき，左足を右足に引きつけ，筒先を右手で保持して基本の姿勢をとる。 　（筒先の先端部を持ち，肘を伸ばして筒先を垂直に保持する。）
	３番員	指揮者の「止め」の号令を復唱し，１番員の前方２メートルに至り，手信号を併用して「止め」を伝達する。 　１番員の「よし」の合図で，まわれ右をして放水補助の位置に戻り，基本の姿勢をとり「よし」と合図する。 　（復唱と同時に両手からホースを離し，足を開いたまま左側から後方に向きを変え，足を引きつけることなく，ホースラインの右側を通って戻る。）
	指揮者	（撤収の合図により） 　まわれ右をして第３結合部の左横１メートルの位置に至り，基本の姿勢をとったのち，１番員に対し手信号を併用して「収め」と号令する。 　１番員の復唱を確認したのち，第２結合部右側に至り，折りひざ姿勢で結合部を離脱する。 　１番員と協力して第１ホースを整理する。 　（ホースは，火点側へは引かずによじれを正す。） 　３番員と協力して第２ホースを整理する。 　（ホースラインの左側後方へよじれを正しながら直伸させる。）

		第２ホースのおす金具部右側に至り，後方に向きを変えて，おす金具からうず巻状に巻き，右肩に担い所定の位置まで搬送して置く。 集合時の指揮位置に至り，基本の姿勢で監視する。
収納	１番員	指揮者の「収め」の号令を手信号を併用して復唱する。 第１ホースを消火栓ボックスの放口から離脱し，指揮者と協力して第１ホースを整理する。 （ホースラインの左側後方へよじれを正しながら直伸させる。） 第１ホースのおす金具部右側に至り，後方に向きを変えて，おす金具からうず巻状に巻き，所定の位置まで搬送して置く。 （搬送方法は，肩担い搬送又は脇抱え搬送とする。） 消火栓ボックスの扉を閉め，集合線上に整列休めの姿勢で待機する。
	２番員	指揮者の「収め」の号令で「よし」と呼唱し，筒先を離脱してその場に置く。 （筒先からホースを離脱するには，ホースに沿って右足を半歩後ろに引き，まわれ右をしながら筒先を左脇下に抱え込み，折りひざ姿勢をとり，両手で元金具をはさんで持ち，両手指でホースの離脱環を引いて離脱する。離脱した筒先は左側に置く。） ３番員と協力して第３ホースを整理する。 （ホースは，火点側へは引かずによじれを正す。） ノズル部を後ろにして筒先を左脇に抱え持ち，所定の位置まで搬送して置く。 集合線上に整列休めの姿勢で待機する。
	３番員	指揮者の「収め」の号令で「よし」と呼唱し，まわれ右をして第３結合部右側に至り，折りひざ姿勢で結合部を離脱する。 ２番員と協力して第３ホースを整理する。 （ホースラインの左側後方へよじれを正しながら直伸させる。） 第２ホースのおす金具部に至り，指揮者と協力して第２ホースを整理する。 （ホースは，火点側へは引かずによじれを正す。） 第３ホースのおす金具部右側に至り，後方に向きを変えて，おす金具からうず巻状に巻き，右肩に担い所定の位置まで搬送して置く。 集合線上に整列休めの姿勢で待機する。
	指揮者	「気をつけ」と号令し，異状の有無の報告を受けたのち，「わかれ」と号令し，隊員の敬礼に答礼して解散する。
	１番員	指揮者の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとり，指揮者に「１番員よし」と報告する。

報告 及び 解散		指揮者の「わかれ」の号令で挙手注目の敬礼をして解散する。
	２番員	指揮者の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとり，１番員に続いて指揮者に「２番員よし」と報告する。 指揮者の「わかれ」の号令で挙手注目の敬礼をして解散する。
	３番員	指揮者の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとり，２番員に続いて指揮者に「３番員よし」と報告する。 指揮者の「わかれ」の号令で挙手注目の敬礼をして解散する。

別表第６

小型動力ポンプ操法

項目	実施者	要　　務　　分　　担
待機	指揮者	待機線上に１番員の右側で，整列休めの姿勢で待機する。
	隊　員	待機線上に一列横隊の隊形で，整列休めの姿勢で待機する。
集合及び点呼	指揮者	（開始の合図により） 基本の姿勢をとり「気をつけ」と号令し，集合線の前方２メートルの指揮位置に至り，まわり込みをして，１番員に正対したのち，右手を真上に伸ばし「集まれ」と号令して，隊員を集合させる。 整とんを確認したのち「番号」と号令する。
	隊　員	指揮者の「気をつけ」の号令で基本の姿勢をとる。 「集まれ」の号令でせいいつに集合線上に進み１番員を基準として自主的に整とんする。 （両かかとを揃え，１番員は顔のみを左に向ける。２，３，４番員は右手を腰にあて，１番員に顔を向けて整とんする。整とんが完了したら１番員から順次になおる。） 指揮者の「番号」の号令で基本の姿勢のまま１番員から順次各自の番号を呼唱する。
想定	指揮者	基本の姿勢のままで「火点は前方の標的」と号令する。
	隊　員	基本の姿勢のままで想定を受ける。
	指揮者	「操作かかれ」と号令をかけたのち，１，２，３，４番員の「よし」の呼唱でとび口を持ち，とび口を搬送して火点へ先行する。 （とび口の搬送は，右手で柄の中央部を持ち，とび先を下に向けて右脇に抱え搬送する。） 火点に向かってとび口を上下に２回振り降ろし「検索よし」と呼唱する。 （とび口の操作要領は，左手で柄の中央部からとび先側の部分を持ち，右手で柄尻付近を持って，左足を一歩踏みだし，とび口を上下に降り降ろしたのち，とび先をやや上に向けて構える。） ポンプ側へおおむね１０メートル戻り，３番員が第３ホースを延長し終わる直前に「止まれ」，「分岐管使用」と号令し，第４ホースを搬送してきた４番員に対して「ホース１本延長」と号令したのち，筒先位置に至る。 ４番員が放水姿勢をとりながら前進してきたとき，とび口の柄尻で地上を指し「筒先位置」と号令して筒先位置を指示する。

操法の開始		４番員が放水姿勢をとり「よし」と合図し，３番員が第４ホースの余裕を広げようとしたとき，３番員に対し「始め」と号令する。 ３番員が復唱しながらホースの余裕をひろげるのを確認したのち，火点側の指揮位置に至り，とび口を構えた姿勢で火点の状況を監視する。
	１番員	指揮者の「操作かかれ」の号令で「よし」と呼唱し，吸口の蓋を離脱して吸管の結合部付近に至る。 吸管を腰部まで持ち上げて「よし」と合図し，２番員及び４番員と協力して吸管がよじれないように吸口に結合し易い位置に吸管を伸長する。 吸口に面して吸管をまたぎ，２番員の「よし」の合図で，２番員と協力して吸管を結合し「結合よし」と合図する。 吸管結合部からおおむね２メートルの位置で吸管の左側に変わり，４番員の「よし」の合図で吸管投入の補助を行ったのち，吸管結合部の締め付けを確認して「締め付けよし」と呼唱する。 エンジンを始動して，吸水操作を行い，吸水を確認して「吸水よし」と合図する。 第１ホースのめす金具を放口に結合して確認し，おおむね２メートルの余裕ホースをとったのち，放口の左約１．５メートルの位置で，ホース上にひざをつけて折りひざ姿勢をとり，両手でホースを保持して「よし」と合図し，第１ホースの延長が終了する直前に２番員に対して「止まれ」と合図する。 第１ホースの延長を確認したのち，余裕ホースを整理し，ポンプ左側（計器盤側）の位置で火点方向に向き，整列休めの姿勢で待機する。 ３番員が放水始めの伝達に来たとき基本の姿勢をとり，手信号を併用して「路上４本始め」を復唱し，放口を開いて送水を確認したのち，元の位置に戻り３番員に正対して基本の姿勢をとり「よし」と合図し，その後整列休めの姿勢で待機する。
		指揮者の「操作かかれ」の号令で「よし」と呼唱して，吸管中央部近くに至り，吸管を腰部まで持ち上げる。 １番員の「よし」の合図で，１番員及び４番員と協力して吸管がよじれないように吸口に結合し易い位置に吸管を伸長する。 １番員のおおむね２歩後方の位置で吸管をまたいで両手で持ち，両足で支えて「よし」と合図し，１番員の結合操作の補助をする。 １番員の「結合よし」の合図で吸管の左側中央部に変わり，吸管を抱えて「よし」と合図し，４番員とせいいつに吸管の投入位置まで進む。

	２番員	４番員の「よし」の合図で吸管の投入補助を行い，吸管が投入されたのち，吸管枕を吸管の曲折部に取り付け，その場で１番員の「吸水よし」の合図があるまで吸管を監視する。 １番員の「吸水よし」の合図を確認したのち，ホース延長位置に至り，第１ホースを二つ折り状態に延長し，第２ホースのめす金具に第１ホースのおす金具をねじ込むように結合して確認し，当該結合部を下にして第２ホースとともに右脇に抱え持ち，左手を第２ホースに添えて，１番員の「よし」の合図で前進し，第１ホースを延長する。 １番員の「止まれ」の合図で止まり，第２ホースと結合部を地上に降ろして第２ホースを二つ折り状態に延長したのち，右手におす金具を持って前進し，第３結合部付近に至り，第２ホースのおす金具を第３ホースのめす金具にねじ込むように結合して確認し，筒先側に至る。 ４番員のおおむね１歩後方の位置で放水補助の姿勢をとり「よし」と呼唱する。
	３番員	指揮者の「操作かかれ」の号令で「よし」と呼唱し，吸管枕を吸管投入位置に置き，吸管ロープを吸管が伸長される付近に伸ばして置く。 第３ホースを右肩に担い，左手で分岐管を持って第３結合部付近に至り，ホースを肩から降ろして二つ折り状態に延長し，右手におす金具，左手に分岐管を持って前進する。 指揮者の「止まれ」，「分岐管使用」の号令で停止し，分岐管に第３ホースを結合して確認したのち，４番員が延長した第４ホースを分岐管に結合して確認し，筒先側の余裕ホースの位置に至る。 指揮者の「始め」の号令を復唱するとともに，筒先側の余裕ホースを広げ（両手でホースを下からささえ持ち，前へほり投げるようにして一挙動で広げる。），おおむね５メートルの直線部分をとったのち，分岐管の右側に至り，折りひざ姿勢で分岐管の左放口側の開閉レバーを操作して開いたのち，１番員の前方２メートルの位置に至り，手信号を併用して「路上４本始め」を伝達する。 １番員の送水確認の「よし」の合図で，ホース１本を右肩に担い，分岐管位置まで搬送して，分岐管左側１メートルの位置に置き，予備ホースとする。 余裕ホースを整理したのち，２番員の反対側おおむね一歩後方の位置で放水補助の姿勢をとり「よし」と呼唱する。
		指揮者の「操作かかれ」の号令で「よし」と呼唱し，吸管ストレーナー近くに至り，吸管を腰部まで持ち上げる。 １番員の「よし」の合図で，１番員及び２番員と協力して吸管がよじ

	４番員	れないように，吸口に結合し易い位置に吸管を伸長する。 　吸管ロープを吸管に取り付けたのち，左手で吸管をささえ持ち，右手で吸管ロープを握り，２番員の「よし」の合図でせいいつに吸管の投入に便利な位置まで進み，「よし」と合図して吸管を投入する。 　吸管ロープをポンプの固定物に巻き結びにより結着する。 筒先を背負い，第４ホースを右肩に担い搬送して，第４結合部付近に至り，指揮者の「ホース１本延長」の号令でホースを肩から降ろし，左斜め前方へ二つ折り状態に延長して，おす金具を一旦その場に置き，筒先を降ろして左手で筒先を持ち，右手でおす金具を持って結合して確認し，火点方向に進む。 　指揮者が指示する筒先位置に進み，放水姿勢をとり「よし」と合図する。
放水の中止	指揮者	（鎮火の合図により） 　３番員に対し，「止め」と号令する。 　３番員が伝達から戻り「よし」と合図したとき，左足を右足に引きつけ，とび口を右手で持ち，柄尻を下にして右足に沿わせて立て，火点側を向き基本の姿勢をとる。
	１番員	３番員が「止め」の伝達に来たとき基本の姿勢をとり，手信号を併用して，「止め」を復唱し，ポンプのレバー操作と併行して放口を閉じ，放水を停止して，元の位置に戻り，３番員に正対して基本の姿勢で「よし」と合図し，そのまま待機する。
	２番員	３番員が「止め」の伝達をして，放水補助の位置に戻り「よし」と合図したとき，ホースを離して右足を左足に引きつけ基本の姿勢をとる。
	３番員	指揮者の「止め」の号令を復唱し，１番員の前２メートルの位置に至り，手信号を併用して「止め」を伝達する。 　１番員の送水停止後の「よし」の合図で，まわれ右をして分岐管の右側に至り，折りひざ姿勢で分岐管の開閉レバーを閉じる。 　２番員の反対側おおむね一歩後方の位置に至り，基本の姿勢で「よし」と合図する。
	４番員	３番員が「止め」の伝達をして，放水補助の位置に戻り「よし」と合図したとき，左足を右足に引きつけ，筒先を右手で保持して基本の姿勢をとる。

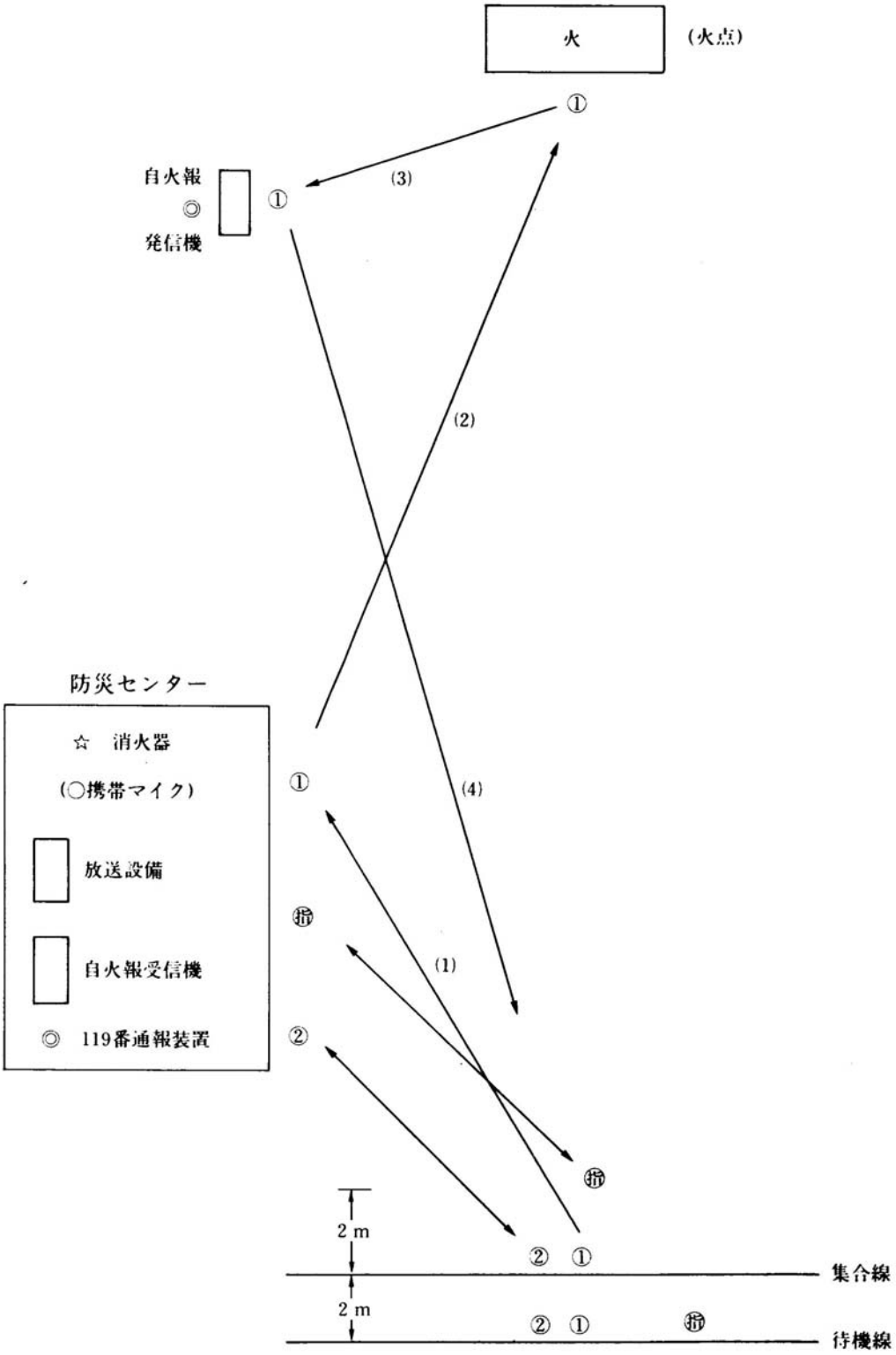
	指揮者	（撤収の合図により） とび口をその場に置き，まわれ右をして分岐管の左側に至り，基本の姿勢をとったのち，１番員に対して手信号を併用して「収め」と号令する。 １番員の復唱を確認したのち，まわれ右をしてとび口を置いた位置に至り，とび口を所定の位置まで搬送して置く。 （搬送方法は，開始時と同じ搬送とする。） 第１ホースのおす金具部右側に至り，後方に向きを変え，おす金具からうず巻状に巻き，所定の位置まで搬送して置く。 （搬送方法は，肩担い又は脇抱え搬送とする。） 集合時の指揮位置に至り，基本の姿勢で監視する。
	１番員	指揮者の「収め」の号令を手信号を併用して復唱し，エンジンを停止する。 第１結合部を離脱し，第１ホースのめす金具側を整理したのち，第２結合部を離脱し，第２ホースのめす金具を整理する。 第３結合部を離脱し，第３ホースのめす金具側を整理したのち，第２ホースをおす金具からうず巻状に巻き，右肩に担い所定の位置まで搬送して置く。 吸管結合部の締め付けを緩め，結合部からおおむね２メートルの吸管左側の位置で吸管を抱える。 ４番員の「よし」の合図で，４番員の吸管引き上げ操作を補助し，２番員の「よし」の合図で，２，４番員と協力して吸管が直伸する位置まで移動する。 吸口に面して吸管をまたぎ，２番員の「よし」の合図で吸管を吸口から離脱し，「離脱よし」と合図したのち，吸管の排水操作を行う。 （吸管左側でストレーナー側に向きを変え，結合部近くを両手で持ち，脇に抱え上げて排水を行う。） 排水完了後両手で腰部付近に持ち「よし」と合図して，２，４番員とせいいつに吸管を所定の位置まで搬送して置く。 集合線に整列休めの姿勢で待機する。
収納		指揮者の「収め」の号令で「よし」と呼唱し，まわれ右をして予備ホースを右肩に担い，左手で分岐管を持って所定の位置まで搬送して置く。 吸管枕を取り外して吸管左側中央部に至り，吸管を両手で持って，４

	２番員	番員の「よし」の合図で，４番員の吸管引き上げ操作を補助する。 吸管を両手で持ち「よし」と合図し，１，４番員と協力して吸管が直伸する位置まで移動し，地上に降ろす。 １番員のおおむね２歩後方の位置で吸管をまたいで両手で持ち，「よし」と合図し，１番員の離脱操作を補助して，１番員の「離脱よし」の合図で吸管の排水操作を行う。 （吸管右側中央部に至り，ストレーナー側に向き両手で吸管を腰部付近まで持ち上げ排水を行う。） 排水完了後，両手で腰部付近に持ち，１番員の「よし」の合図で，１，４番員とせいいつに吸管を所定の位置まで搬送して置く。 集合線上に整列休めの姿勢で待機する。
	３番員	指揮者の「収め」の号令で「よし」と呼唱し，まわれ右をして第４結合部右側に至り折りひざ姿勢で，分岐管から第４ホース及び第３ホースを順次離脱する。 ４番員と協力して第４ホースを整理する。 （ホースラインの左側の方へホースのよじれを正しながら直伸させる。） 第３ホースのおす金具部右側に至り，後方に向きを変え，おす金具からうず巻状に巻き，右肩に担い所定の位置まで搬送して置く。 吸管ロープを整理し，吸管枕とともに所定の位置まで搬送して置く。 集合線上に整列休めの姿勢で待機する。
	４番員	指揮者の「収め」の号令で「よし」と呼唱し，筒先を離脱して背負う。 （右足を半歩後ろに引き，まわれ右をして右手を左脇下へ移動し，筒先を左脇で抱え折りひざ姿勢をとる。両手で元金具をはさんで持ち，ホースを離脱して，筒先を担う。） ３番員と協力して第４ホースを整理する。 （ホースは火点側へは引かずによじれを正す。） 第４ホースをおす金具からうず巻状に巻き，右肩に担い筒先とともに所定の位置まで搬送して置く。 吸管ロープのポンプ側の結着をほどいたのち，ロープをたぐりながら吸管投入位置へ移動し，両手で吸管ロープを握って「よし」と合図し，１，２番員の補助を受けて吸管を引き上げ，一旦地上に置き吸管ロープを外す。 ストレーナー部近くを両手で持ち，２番員の「よし」の合図で１，２番員と協力して吸管が直伸する位置まで移動し，地上に降ろす。 ストレーナー部近くを両手で軽く押さえて排水操作を行い，排水が完了

		したとき「排水よし」と合図する。 両手で吸管を腰部まで持ち上げ１番員の「よし」の合図で，１，２番員とせいいつに吸管を所定の位置まで搬送して置く。 　集合線上に整列休めの姿勢で待機する。
報告及び解散	指揮者	「気をつけ」と号令し，異状の有無の報告を受けたのち，「わかれ」と号令し，隊員の敬礼に答礼して解散する。
	１番員	指揮者の「気を付け」の号令で基本の姿勢をとり，指揮者に「１番員よし」と報告する。 　「わかれ」の号令で一斉に挙手注目の敬礼をして解散する。
	２番員	指揮者の「気を付け」の号令で基本の姿勢をとり，１番員につづいて，指揮者に「２番員よし」と報告する。 　「わかれ」の号令で一斉に挙手注目の敬礼をして解散する。
	３番員	指揮者の「気を付け」の号令で基本の姿勢をとり，２番員につづいて，指揮者に「３番員よし」と報告する。 　「わかれ」の号令で一斉に挙手注目の敬礼をして解散する。
	４番員	指揮者の「気を付け」の号令で基本の姿勢をとり，３番員につづいて，指揮者に「４番員よし」と報告する。 　「わかれ」の号令で一斉に挙手注目の敬礼をして解散する。

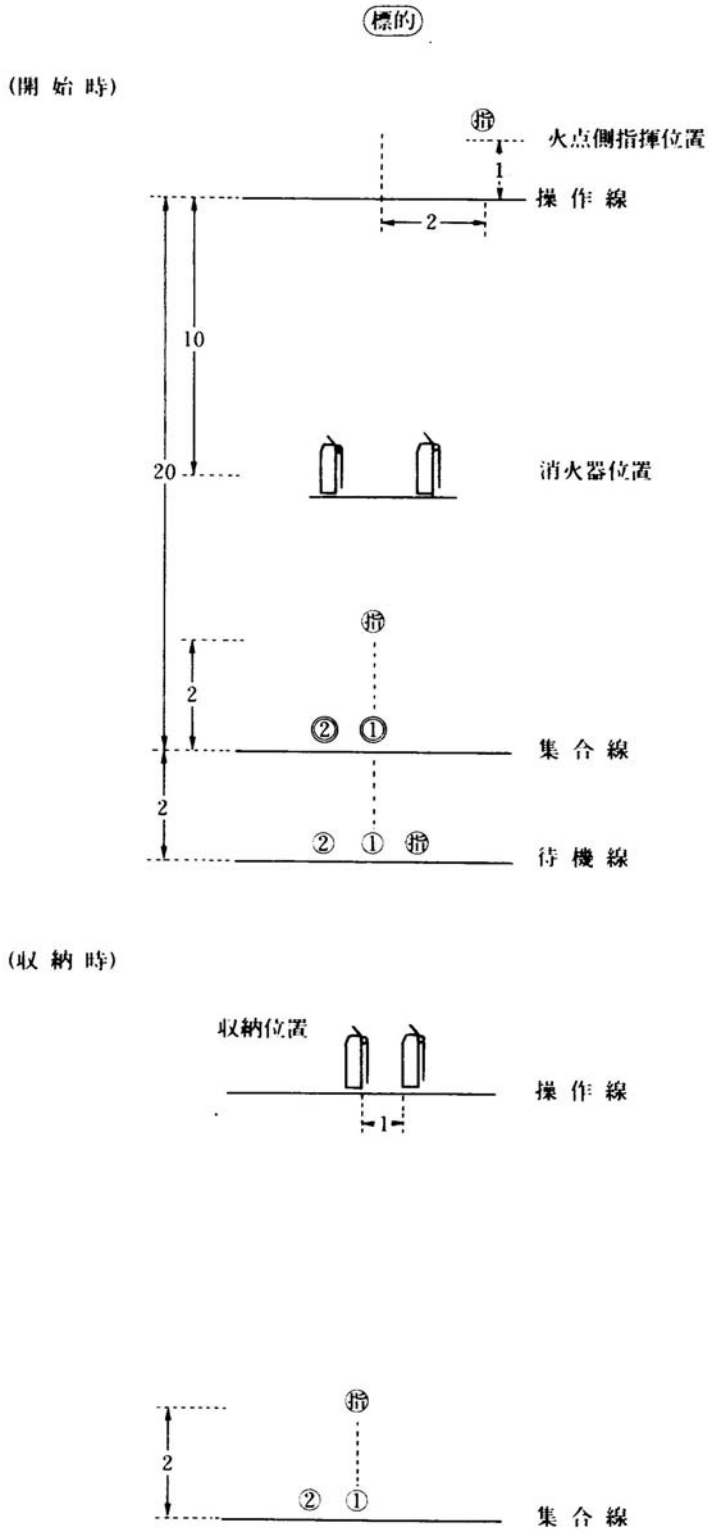
別図第１

初動活動操作に係る定位，器具の配置，隊員の位置



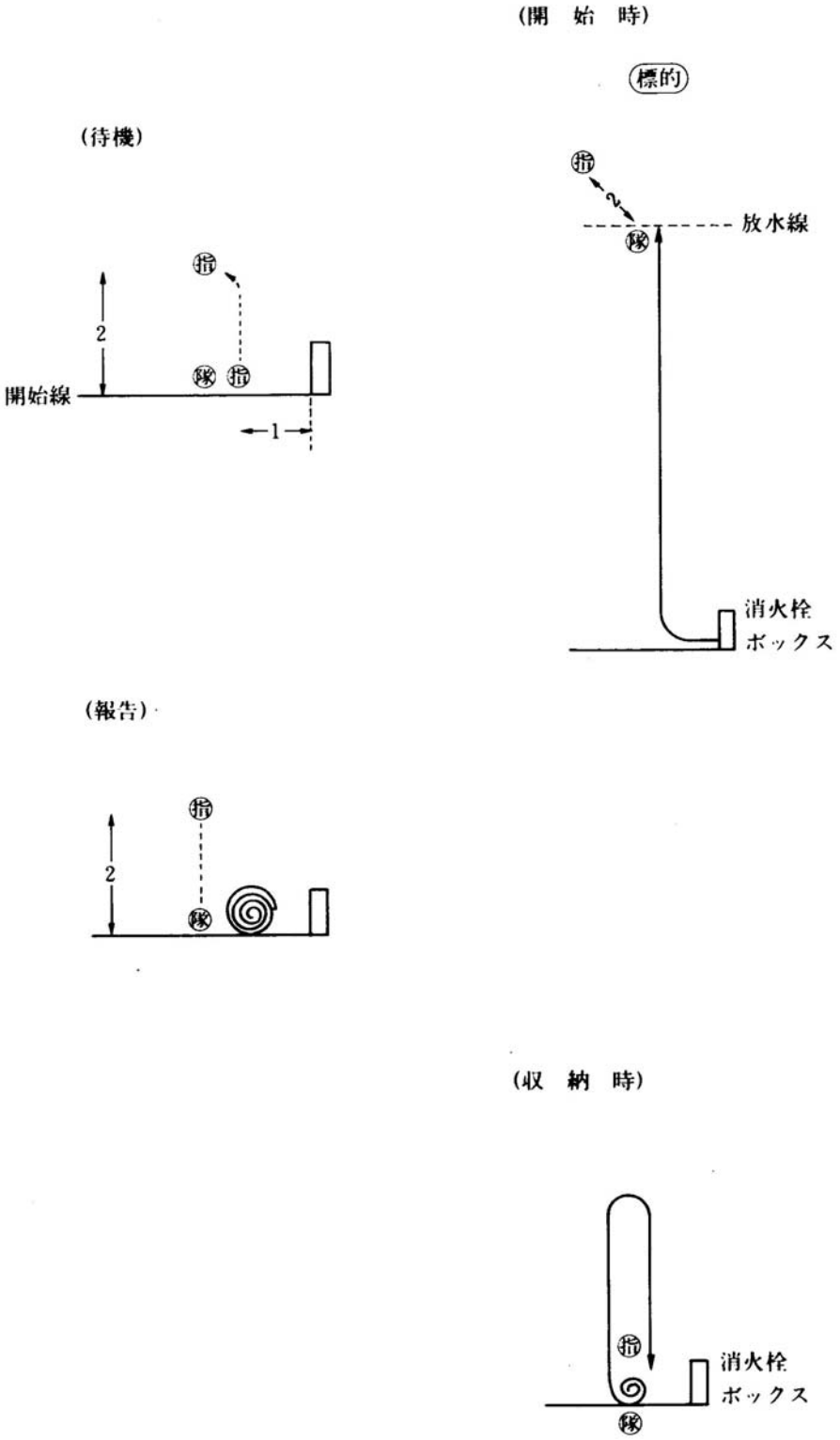
別図第２

消火器操法に係る定位，器具の配置，隊員の位置



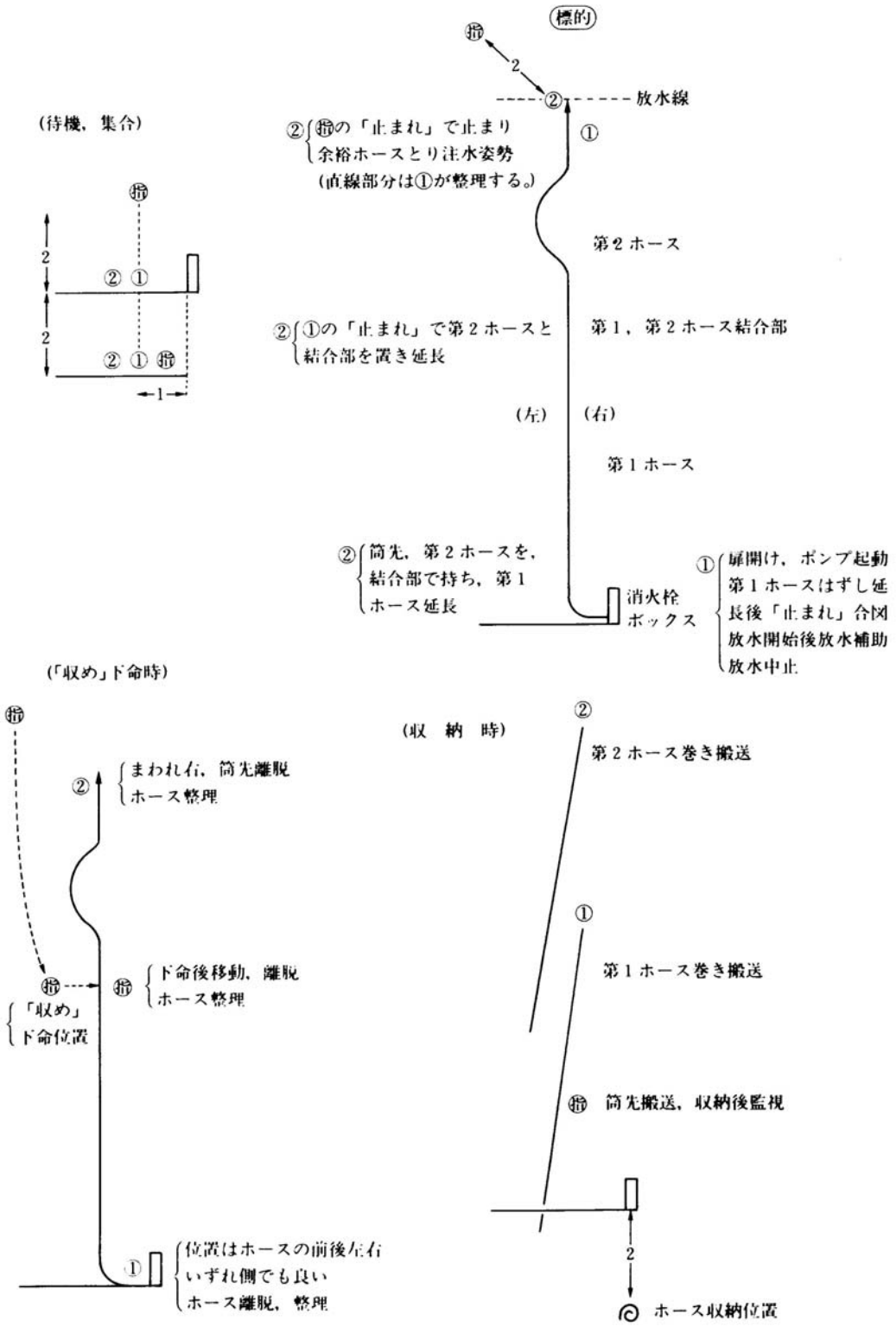
別図第３

２号消火栓操法に係る定位，器具の配置，隊員の位置



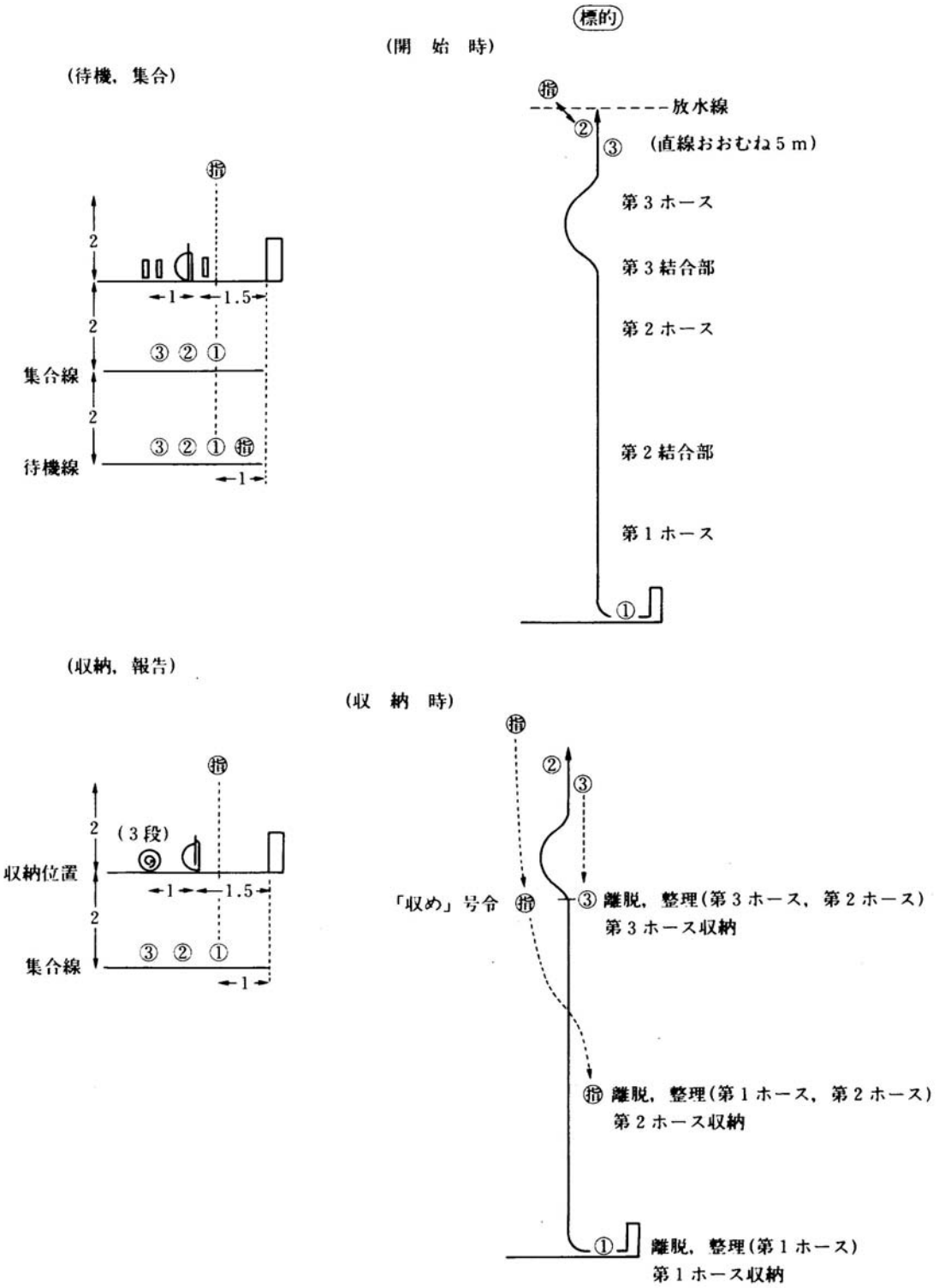
別図第４

屋内消火栓操法に係る定位，器具の配置，隊員の位置



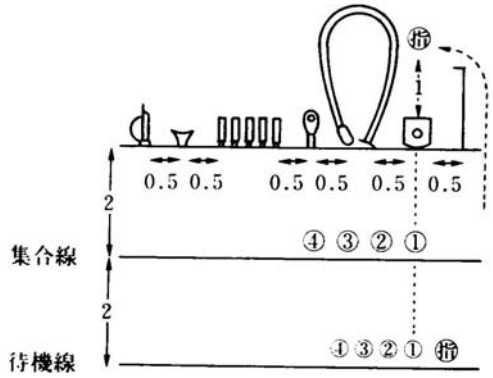
別図第５

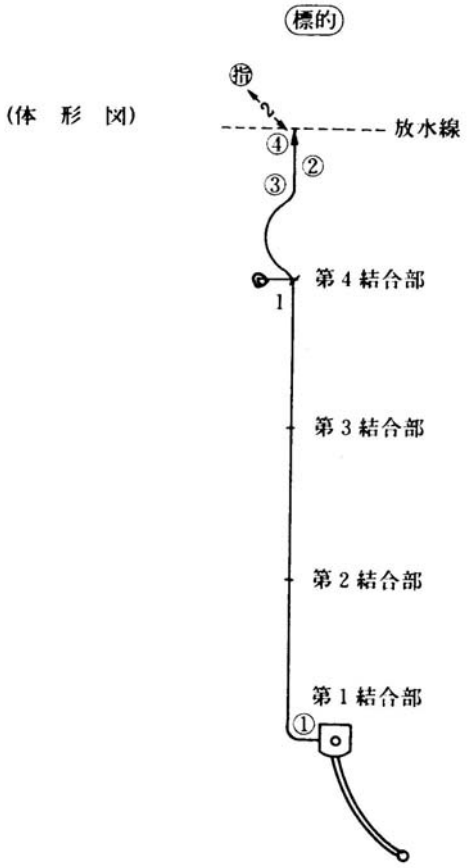
屋外消火栓操法に係る定位，器具の配置，隊員の位置

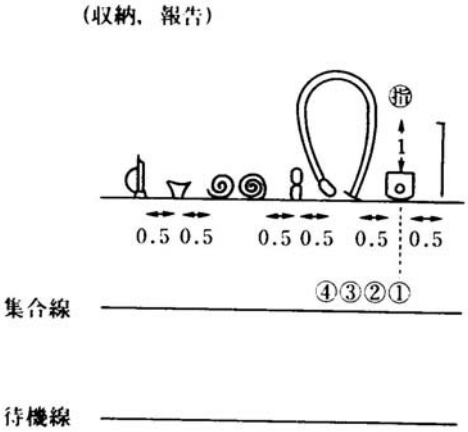


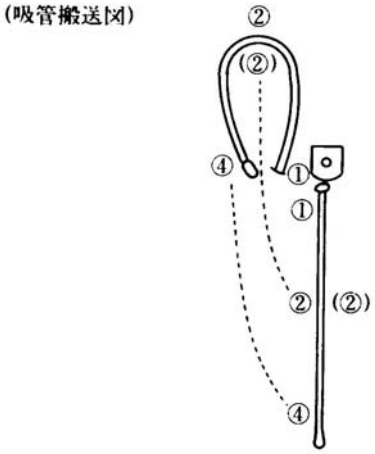
別図第６

小型動力ポンプ操法に係る定位，器具の配置，隊員の位置









(　)内は収納時の２番員の位置